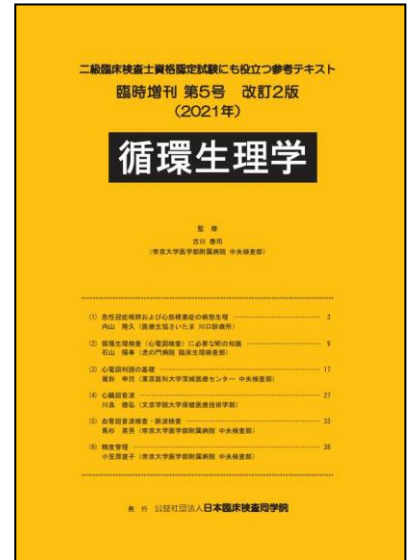


循環生理学テキスト

監修：古川 泰司（帝京大学医学部附属病院 中央検査部）

2021年4月、A4判、本文42頁、価格¥1,760(税込)
発行・販売 公益社団法人 日本臨床検査同学院

- ・ 二級臨床検査士資格認定試験にも役立つ参考テキスト
- ・ 循環生理学を理解するための基礎知識の整理に
- ・ 改訂版は業務上に必要な知識を追加し、より実務的内容に



今回の改訂では、生理機能検査における精度管理（第三者認定への対応を意識した内容）と血管機能検査に関する章を新しく設け、より実務的内容の構成にしました。ただし、基礎的知識が不要となったわけでは決してありません。様々な場面で、成書にあたり知識の吸収に努めて下さい。一方、今回追加された章については、循環生理学的検査についての勉強を進める上では、系統的な知識が得にくい分野と思われ、本書の価値もそこにあると考えています。特に、生理機能検査の精度管理については古くから概念的には自明の活動と考えられているものの、その実態に関する文書は少なく、標準化も進んでいません。今後、皆さんが認定技師として業務を行う上では、避けて通れない業務になることは間違いありません。

古川 泰司（監修者）（巻頭言から抜粋）

【内容】

- (1) 急性冠症候群および心筋梗塞症の病態生理
 - I. 急性冠症候群
 - II. 心筋梗塞症の病態生理
- (2) 循環生理検査(心電図検査)に必要な MEの知識
 - I. 心電図検査にみる興奮伝導と等価双極子の考え方
 - II. 心電図誘導電極について
 - III. アイントーベンの正三角形モデルと心電図誘導
 - IV. 心電図用差動増幅器について
 - V. 心電計の安全の程度による分類
- (3) 心電図判読の基礎
 - I. 刺激伝導系
 - II. 不応期
 - III. 簡単な心拍数の求め方
 - IV. 簡単な電気軸の求め方
 - V. 簡単な QT 延長の求め方
 - VI. 簡単な心筋梗塞の見分け方
- (4) 心臓超音波
 - I. 超音波の伝播
 - II. 超音波エコー源
 - III. 超音波エコー輝度
 - IV. スペックルパターン
 - V. 超音波の減衰
 - VI. 超音波の異方性 (anisotropy)
 - VII. パルスエコー法
 - VIII. 探触子
 - IX. 方位分解能
 - X. 距離分解能
 - XI. 信号処理
 - XII. 組織ハーモニックイメージング
 - XIII. サイドローブ
 - XIV. 多重反射
 - XV. ドプラ法
 - XVI. パルスドプラ法と連続波ドプラ法
 - XVII. カラードプラ法
 - XVIII. 組織ドプラ法
 - XIX. ドプラ法のアーチファクト
 - XX. ストレイン、ストレインレート
 - XXI. 3D 心エコー法
- (5) 血管超音波検査・脈波検査
 - I. 血管超音波検査
 - II. 脈波検査
- (6) 精度管理
 - I. 精度管理の現状
 - II. 精度管理標準化への取り組み

【購入申込】

書店での取扱いはありませんので、ホームページから直接お申込みください。

公益社団法人 日本臨床検査同学院 <https://clmj.jp/>